



# まくべつ

わたしたちのまち

(昭和60年7月1日現在)

人口	21,644	(+17)
男	10,618	(+5)
女	11,026	(+12)
世帯数	6,595	(+8)

一人のうごき (6月中)

転入	57人	転出	57人
出生	23人	死亡	6人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



じょう

## 勇壮な豊穡太鼓に魅せられて

夏本番の8月です。いきなスタイルで豊穡太鼓をたたくのは、<sup>じょう</sup> <sup>かば</sup> 本浩司君(幕別高校3年・寿町161)です。バチを持って6年になり、幕別町文化倶楽部(森野末吉会長)に所属して練習に励んでいます。

「勇壮な太鼓の音にひかれて始めました。もっと若い人が太鼓の良さを知って、バチを握ってほしいですね」と話す浩司君です。

60年 **8**

No. 403

豊かさと活力のある町づくり

予算特集の4回目は「産業の振興」です。生産性の高い農業を目指し、大型施設・機械の導入や土地改良事業を推進します。また、地域経済の活性化を図るため、商工業の振興を進めます。

生産力の向上で豊かな収穫を

▼新地域農業生産総合振興対策事業  
能率的な生産技術を導入し、地域全体の農業生産力の向上を図るための事業です。事業主体は幕別農協と札内農協です。幕別農協は小麦乾燥機一基、コンバイン二台、コーントップパー二台、コーンハーベスター二台を導入します。札内

大型の施設と機械を導入



依田に完成した札内農協の小麦乾燥・保管施設

乾燥施設に設置されます。札内農協の乾燥・保管施設は依田にある既存の施設に併設され、七月末から操業を開始しています。

農協は小麦の乾燥・保管施設の設置とコンバインを二台導入します。小麦の乾燥施設やコンバインの導入は、小麦の作付面積が年々増加することに対応するものです。本年度の小麦の作付面積は全町で三千二百七十九畝です。コンバインの導入により小麦の適期収穫が行われます。乾燥施設の設置は良質小麦の生産を促進します。幕別農協の乾燥機は軍岡にある既存の乾

本年度行われる道営土地改良事業

(事業主体が北海道)

事業名	全体計画	事業期間	総事業費	昭和60年度	
				事業費	事業内容
糠内地区 畑地帯総合土地改良事業	五位高台線ほか3路線改良・舗装 L=11,692m 明きよ2,510m 暗きよ380ha 区画177ha	52 63	1,889,000	180,000	改L=300m 舗L=1,745m 暗きよ26ha 区画整理6ha
糠内第2地区	美川西線ほか4路線改良・舗装 L=22,112m 明きよ17,870m 暗きよ434ha 区画156ha 客土210ha	53 65	3,829,000	272,000	舗L=1,700m 明きよ330m 暗きよ38ha 区画整理7.8ha
新川地区	緑町明野線ほか3路線改良・舗装 L=12,813m 明きよ6,035m 暗きよ323ha 客土124ha	56 66	1,652,000	110,000	改L=1,030m 明きよ718m 暗きよ20ha
新川第2地区	新川32号線ほか2路線改良・舗装 L=9,130m 明きよ5,099m 暗きよ395ha 客土153ha	56 66	1,573,000	110,000	橋りょう1基 明きよ780m 暗きよ35ha
駒島地区	美川駒島線ほか3路線改良・舗装 L=15,061m 明きよ5,195m 暗きよ466ha 区画178ha	57 68	2,218,000	100,000	明きよ500m 暗きよ45ha
駒島東地区	中里駒島線ほか3路線改良・舗装 L=11,709m 明きよ9,832m 暗きよ494ha	58 69	2,280,000	80,000	明きよ420m 暗きよ35ha
西糠内2期地区 農免農道整備事業	猿別川西線改良・舗装 L=8,579m W=5.5m	53 62	1,003,000	18,750	改L=1,000m 舗L=1,918m
明倫地区	糠内古舞線改良・舗装 L=2,100m W=5.5m	58 62	253,000	7,500	改L=1,000m
大豊第2地区 開拓地農道整備事業	明野25号線ほか1路線改良・舗装 L=4,600m W=5.5m	54 61	546,000	9,000	舗L=1,700m
軍岡北地区 明きよ排水事業	排水路10,760m	54 61	1,058,000	18,000	排水路 1,036m
十勝中央地区広域 農道整備事業	千住13号線ほか1路線改良・舗装 L=15,360m W=6m 中央大橋772m	56 65	6,931,200	87,500	橋りょう下部 上部工事

(注) L=道路の長さ W=道路の幅

コーントップパーとコーンハーベスターは、ホクレン十勝食品工場の誘致により作付面積の増えたスイートコーンの管理・収穫機械です。本年度のスイートコーンの作付面積は四百十畝で、前年度より

二百三十二畝増加しています。事業費は総額で四億四千九百九十六万円で、国から約二億二千万円の補助金が交付される見込みです。▼道営土地改良事業

美しい自然と拡大な土地資源に恵まれた本町の農業をさらに発展させるための事業です。農業生産に適するように、耕地の改良、農用地の規模拡大、農村道路網の整備などの基礎的条件を整備するために、北海道が事業主体になって行います。町は事業費の二〇%前後の額を負担します。事業の内容によっては、受益農家も事業費の一部を負担します。本年度行われる事業は表のとおりで、事業費は十七億一千四百万

円です。そのうち町の負担額は三億一千百十五万円です。

▼町・農協による農道・土地改良事業

町や農協が主体となって行う土地改良事業です。本年度行われる事業は表のとおりです。事業費は総額で二億七百三十三万円で、そのうち町の負担額は一億一千七百五十二万円です。

▼農村総合整備モデル事業

農村地帯の環境施設や生産基盤などの整備をするための事業です。昭和五十六年から十カ年計画で進められています。本年度は途別三号線の改良(五百坪)、依田六線の舗装(二百三十七坪)と糠内地区に集落排水を設置します。事業費は九千八十万円です。

▼地域野菜生産団地育成事業(貸付金制度)

昭和五十三年度から、町の単独事業として行われています。野菜農家(五戸以上で組織する集団)が、生



のりよし 森本則義さん (五位244・42歳)

荒廢地の土地改良事業をしてもらっています。三鈴ほど畑が増え、今年の秋には小麦の作付けができそうなので喜んでます。五位地区は土地盤整備が遅れているので、こういう事業をもっと導入してほしいですね。

土地の有効利用というところで、自分の所有している

本年度行われる団体営農道・土地改良事業 (事業主体が町、農協)

事業名	全体計画	事業主体	事業期間	総事業費 千円	昭和60年度	
					事業費 千円	事業内容
大豊地区 土地改良 舗装事業	明野25号線改良・舗装 L=2,300m W=5.5m	幕別農協	55 ~ 63	253,000	40,600	改L=390m
上稲志別第2地区	日新線舗装 L=2,029m W=5.5m	札内農協	59 ~ 61	131,900	71,050	舗L=440m
相川地区 農道整備事業	相川6線改良・舗装 L=1,657m W=5.5m	町	56 ~ 63	193,260	34,800	改L=637m
明野東地区	明野8線改良・舗装 L=2,058m W=5.5m	〃	55 ~ 60	221,940	26,440	舗L=674m
途別第2地区 排水対策特別事業	明きよ449m 暗きよ4.8ha	〃	60	42,014	42,014	明きよ449m 暗きよ4.8ha

(注) L=道路の長さ W=道路の幅

産管理施設や機械を導入して作業の共同化、生産物の一元集荷などを実施する場合、五百万円(最高限

度額)をお貸しいたします。これまでに、ホウレン草、ゴボウ、長ネギ、玉ネギ、長芋などの生産振興



レイ子 青木さん (札内あかしや町43・36歳)

行政や商工会などで、地場産品の紹介などをしてほしいですね。

町内でもいろいろな商品が作られていると思いますが、どこでどういう物が作られているのか、あまりよく知りません。みそやめん類などがおいしいという評判を聞きますが、どこで作っているのでしょうか。行政や商工会などで、地場産品の紹介などをしてほしいですね。

に貸し付けられています。貸し付け期間は五年間で、無利子となっています。予算額は五百万円です。

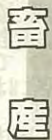
▼天災資金の利子補給

昭和五十五年、五十六年、五十八年に、冷害、低温、豪雨などの被害を受けた農業者に、経営の維持・安定を図るために天災資金が融資されています。この資金の利子補給をお手伝いし、農業者の負担軽減と経営の安定化を図っていきます。利子補給は国が二分の一、道と町が四分の一ずつを負担します。本年度に町が利子補給するための予算額は二千二百九十四万円です。

▼農業後継者の育成

農村青年海外研修視察補助(予算額六十万円)による優れた担い手の育成や、名古屋女性との交流会、結婚相談所の充実など農村花嫁の確保に努めます。

町牧の整備と綿羊の飼育



▼肉用牛経営対策事業

肉用牛の購入を促進するなど、一貫生産体系の確立を推進するための事業です。年間十五頭以上の肥育牛を出荷する肉用牛の肥育経営者が、雄のホルスタインの子牛を購入する場合には、一頭に付き四千

五百四十円の補助金が肥育経営者に交付されます。年間で約千二百頭の子牛が購入されます。補助金は総額で五百四十四万円です。

▼畜産経営技術改善活動推進事業

畜産農家の技術向上のために、経営者会議、意識調査、技術交流会などを推進します。予算額は二十万円です。

▼町営育成牧場の整備

町営育成牧場は、昭和四十一年に造成されました。現在採草放牧地は四百九拾あり、平均十七・六拾の牧区が二十牧区あります。本年は五月に入牧が行われ、現在四百七十八頭の牛が放牧されています。約百五十日間の放牧で、体重が平均一頭当たり約七十五キロ増加します。

酪農家の皆さんに有効に利用していただくために、五十八年度から三カ年計画で施設整備を進めています。本年度は、二十一・四拾の草地改良と防護さく、追い込みさくの整備を行い、機能の充実を図ります。事業費は一千八百四十六万円です。

▼肉用牛の導入

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。貸し付け期間は五年間で、五年後に畜産農家へ譲り渡されます。畜産農家は満五年目に譲渡価格分を道農業開発公社に支払います。本年度

(次のページに続く)

は昭和五十五年度に導入した四五頭分の支払いをします。支払額は二千二百十万円です。本年度も四十五頭を導入する予定です。

▼綿羊の飼育

繁殖用綿羊十頭と種綿羊一頭を九十三万円で購入し、町営育成牧場で飼育しています。綿羊はサフオーク種で、町営育成牧場の観光資源としてや、肉の販売など多目的に利用される予定です。繁殖により頭数が増えれば、将来的には農家への譲渡も計画しています。



町営育成牧場で飼育されている綿羊

町有林の造成と  
民有林の振興



▼町有林の造成

森林などの緑資源は、木材を生

産するだけでなく、土砂の流失や災害を防ぎます。水や空気を供給し、私たちのレクリエーションの場所としても限らない恩恵を与えてくれます。

本町の森林面積は八千九百三拾(五十九年六月一日現在)で、全町面積の二六%を占めています。町有林は一千四十八拾あり、毎年造成事業を行っています。本年度は、昨年秋季に地ごしらえをした五拾にトドマツの植栽を五月に行いました。秋には五拾の地ごしらえを行います。事業費は一千五百十万円です。

▼町森林組合への補助

個人や会社などが所有している民有林は、七千五百二十五拾あり、本町の全森林面積の八五%を占めています。民有林の造成は、五十八年度に二十一拾、五十九年度に三十七拾行われています。植栽地ごしらえなど、民有林振興の指導をしている森林組合へ、七十万円の補助金を交付しています。

▼除間伐推進事業

この事業は町の単独事業で、民有林の振興と造林意欲の向上を図るためのものです。カラマツやトドマツなどの成長のために行う、下草刈りや枝はらい、除間伐に対し、一拾当たり一万円の補助をしています。予算額は四十万円です。

▼町有林監守員の設置

町有林の保守、管理のために、地区ごとに監守員を設置しています。

予算額は四十八万円です。

地域経済の  
活性化を促進

商工業

▼特産品開発の研究活動補助

本町の特性を生かした、特産品の開発を手掛けてみませんか。町では「一村一品運動」の推進として、特産品の開発、調査研究を行うグループ・個人に対して補助金を交付しています。補助金は一件につき五万円です。予算額は五十万円です。

詳しいことは、開発商工課商工係へお問い合わせ下さい。

54-2111(内線234)

▼町商工会への補助

商工会が行う経営改善普及事業(経営の合理化・改善、経理・金融技術の向上などの相談指導)や一般事業(総合振興対策、商業・工業振興対策、サービス業振興対策)、管理運営費などに一千四百八万円の補助を行っています。

▼中小企業への融資制度

町内にある中小企業の経営の合理化と設備の近代化のために、資金をお貸しします。対象となるのは、町内で同一事業を一年以上営んでいて、従業員数が五十人以下の会社または個人で、町税を完納していることが条件です。貸し付けする資金は、運転資金と設備資

金で、運転資金は三百万円以内、設備資金は八百万円以内の範囲でお貸しいたします。予算額は六千万円です。詳しいことは、町商工会、もしくは開発商工課商工係へお問い合わせください。

▼消費者生活相談

消費者協会では、訪問販売や買収求めた商品の苦情、トラブルなどを未然に防止するため、消費者相談を行っています。お気軽においでください。

○相談日 毎週金曜日 午後一時から五時まで(祝祭日を除く)

○場所 消費者協会事務所(幕別中央会館一階)

観光協会による  
各種事業の開催

観光開発

▼観光協会への補助

観光資源の調査・開発、地場産品の紹介・宣伝などを目的として昭和五十二年に、観光協会が発足しました。「産業まつり」「観光写真コンテスト」「物産キャンペーン」など多くの観光事業の計画および実施をしています。本年も「産業まつり」が十月六日に幕別温泉前広場で開催されます。また五十八年から行っている明野ヶ丘公園の芝桜の植栽は九月に実施する予定です。ご協力をお願いいたします。観光協会に対する補助金は三百七十

十万円です。



今年で8回目を迎える産業まつり(写真は昨年)

▼国民宿舎幕別温泉ホテル

同ホテルは、昭和四十三年十二月、道内では最大規模の国民宿舎としてオープンしました。五十六年には、周辺の環境と温泉の薬効が認められ、管内二カ所目の国民保養温泉地の指定を受けました。年間利用者は宿泊客が三万四千人、日帰り客が十六万四千人で、五十八年三月には日帰り客通算二百万人、同八月には宿泊客通算五十万人を達成しています。五十七年十二月には、浴場が移転新築され、帯広市内の夜景を見ながら入浴が楽しめます。ホテル周辺には温水プール、ふるさと館、野球場、テニスコートなどがあり、町民の憩いの場としても定着してきています。幕別温泉ホテルのご利用をお待ちしています。

(おわり)

# ホクレン十勝食品工場が完成

## 八月中旬から操業開始

昨年の十一月から建設が進められていたホクレン十勝食品工場(藤沢斉工場長)が町内軍岡に完成しました。八月中旬から操業を始め、スイートコーン缶詰の製造をします。農産物の付加価値を高める工場として、大きな期待が寄せられています。

完成した工場は、農産物に付加価値を与え販売しようというホクレンの中期事業方針に基づくもので、加工農産物は比較的市場性が高く茎葉を有機質(地力増強)として農地に還元するスイートコーンを原料とします。

建設された場所は、町内軍岡で町道を挟み東側に小麦、豆類の調整施設をはじめ、じゃがいもの貯蔵庫など一連の農業施設が集中している適地です。施設の規模は、鉄骨平屋建て二千八百平方メートルの工場棟と管理棟、事務所など七棟の延べ面積三千五百五十二平方メートルで、機械施設を含めた総事業費は十四億七千万円です。

工場は八月中旬から四十日間操業され、スイートコーン缶詰のホルカーネル(粒状)とクリームスタイルの二種を製造します。初年度の今年は二十一万ケースの生産を見込んでいます。これに必要な原料スイートコーンは五千ト、作付面積で四百三十畝になり、原料確保のため五農協(幕別、札内、川西、大正、音更)の農家と契約栽培をしています。幕別農協(百五十戸・二百三十畝)と札内農協(三戸・四畝)で五四%を占めます。八月中旬から操業が始まります。ここで働く季節従業員は百十人(男子十人、女子百人)で、その大半は町内の採用と雇用の拡大が図られています。

六十三年以降は、工場の操業度の向上などから、豆、野菜を原料とした食品加工も手掛ける予定です。農業を基幹産業にしながらも、この種の施設がなかっただけに、町としても大きな期待を寄せています。

幕別町土地開発公社(理事長・林照男町長)は、札内東工業団地(稲志別地区)を造成する計画を進めています。用地買収は終了しており、年内にも造成工事に着手する方針です。札内市街に隣接、地理的にも恵まれた場所だけに大きな期待が寄せられています。

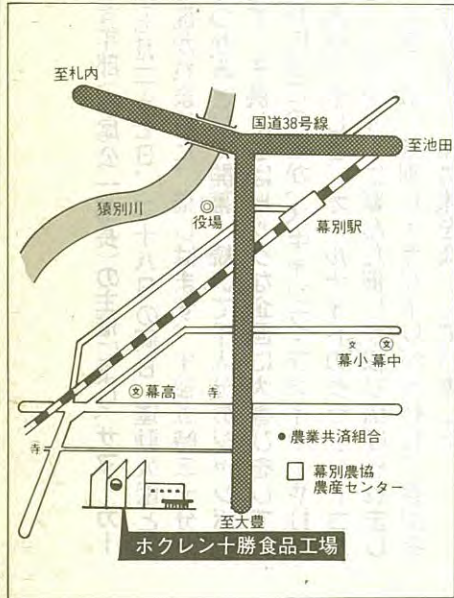


製造されるスイートコーン缶詰(見本)

の特別工業地域で、面積は約二十一畝、南側の高台地帯と北側の根室本線、町道幕別一札内線に挟まれ東西に細長く延びています。造成される札内東工業団地は、札内地域および近隣市町村の市街地で現在、操業している工場の移転先(疎開型)と考えており、十勝中央広域農道が完成すると帯広空港への交通の便も良い所です。このため土地開発公社では臨空港をアピールし、管外からの企業誘致にも力を入れることにしています。

現在、調査設計の委託業務を実施中であり、秋ごろまでには造成工事を開始したいと考えています。土地開発公社は、札内地区と明野に工業団地を造成するため地権者との交渉を行ってきましたが、先に態勢の整った札内地区から手掛けることになりました。

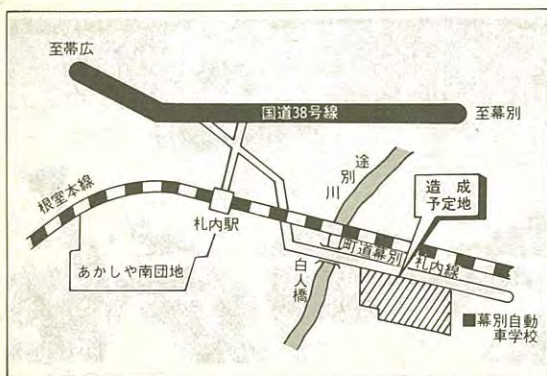
完成したホクレン十勝食品工場



## 札内地区に工業団地 年内にも造成に着手

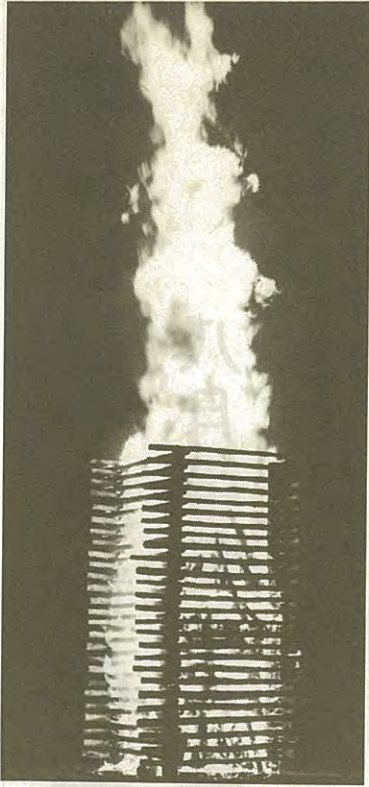
造成予定地は、白人橋と幕別自動車学校の間に広がる都市計画

幕別町土地開発公社(理事長・林照男町長)は、札内東工業団地(稲志別地区)を造成する計画を進めています。用地買収は終了しており、年内にも造成工事に着手する方針です。札内市街に隣接、地理的にも恵まれた場所だけに大きな期待が寄せられています。



# 新しい夏の風物詩

## サマーカーニバル'85



夏の夜空を焦がさんばかりの大キャンプファイヤー。炎の高さは15メートル



ヤマベのつかみどりに大はしゃぎの子供たち。ヤマベはその場でカラ揚げに

町商工会青年部(小尾公一部長)の主催により、サマーカーニバル'85が七月二十七日、二十八日の両日、運動公園と猿別川一帯で開かれました。催しはまず、午後五時三十分からヤマベのつかみどりで開幕。続いて千人分のジャンボカレーの登場で、子供たちはビッグな企画に大喜びをしていました。初日にはこのほか、大キャンプ・ファイヤーや打ち上げ花火、お化けやしき、オールナイトのグラウンドゴルフ大会などバラエティーに富んだ催しが繰り広げられました。翌二十八日には、猿別川イカダ下りが行われ、参加者たちは水の涼を求め、川の旅を楽しんでいました。



なんと1000人分のジャンボカレーも30分でペロリ



怖いもの見たさでお化けやしきに入ってみたけれど……



悠々と猿別川を下るイカダ。ゴールは間近



転覆するイカダも続出。船体が傾いたとたん、全身は川の中へ

# 「第二札内橋」建設へ

## 一市四町の連絡協が発足

幕別町と帯広市を結ぶ国道38号線・札内橋の混雑緩和を図る「第二札内橋」の建設気運が高まっています。

国道38号線が札内川をまたぐ札内橋は、今年十二月にも四車線化の拡幅工事が完了、渋滞の解消が期待されていますが、それでも混雑がなくなるわけにはいかないのも実情です。このため、幕別町では五十六年に、帯広市では五十七年に、住民組織の第二札内橋架橋促進期成会が結成され、早期着工

に向けて運動を展開してきました。しかし、「早期着工には広域的な



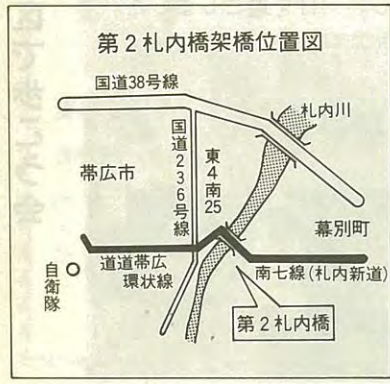
7月2日に行われた1市四町の合同役員会

森 睦子さん (23歳)  
 (相川750)  
 ▼景山医院▲  
 週一回のテニスが楽しみ



高校を卒業してすぐに、ここに勤めましたので、今年で6年目になります。受け付けが主な仕事です。趣味は映画とテニスで、先日「マッドマックス」を見てきました。テニスは毎週土曜日の朝に、職場の仲間と楽しんでいます。日曜日はショッピングをしたり、レコードを聴いたりしています。仕事から笑顔絶やさないように心がけたいですね。

## こんにちは ⑤



運動が不可欠」と東部三町(豊頃、池田、浦幌)に期成会設立を呼び掛けてきましたが、六月中旬までに相次いで期成会が誕生しました。七月二日に、一市四町(幕別、帯広、豊頃、池田、浦幌)の建設促進期成会の合同役員会が町民会館で開かれ、広域的な運動を進めるため「第二札内橋架橋促進期成会一市四町協議会」(会長・斉藤正美幕別町期成会長)を設立し、国の来年度予算に調査費を計上するよう道に働きかけていくことを決めました。また、一市三町(幕別、帯広、音更、芽室)でつくる帯広圏広域都市計画協議会も第二札内橋建設を重点項目の一つに掲げ計画に着手しています。架橋位置は道道認定を受けている、帯広環状線ルート上の帯広市東四条南二十五丁目―幕別町南七線(依田)間で、規模は車道四車線、延長五百メートルの長大橋が計画されています。

今後は、さらに官民一体となった運動を強めていくこととなります。

## 手づくり料理 ⑤

地場産品を使った

### いもまんじゅう

- 【材料】 5個分
- ジャガイモ…大5個
  - んぶん…少々
  - ひき肉…100グラム
  - ニラ…少々
  - モヤシ…1袋
  - 玉ネギ…1/2個
  - ニンジン…少々
  - シイタケ…1個
  - 塩コショウ…少々

### 【作り方】

- ① ジャガイモの皮をむき、塩ゆでにします。
- ② ゆでたジャガイモをよくつぶします。このときできるだけ細くつぶしてください。
- ③ つぶしたジャガイモに、で



- ④ ニラ、モヤシ、玉ネギ、ニンジン、シイタケをみじん切りにします。
- ⑤ フライパンにひき肉と④を入

- ⑥ 入れて油でいため、塩、コショウで味つけます。
- ⑦ フライパンに油をひいて、⑥をとろ火で三〜五分、きつね色になるまで焼いて、できあがりです。



出品者 新保 信子さん (旭町84・47歳)

昔よく食べた「いも団子」と同じような方法で皮をつくると良いと思います。皮をジャ

ガイモにしたギョウザのような感じ。中味にカボチャのあんを入れてもいいし召し上がれます。ジャガイモをつぶしてから、でんぷんを混ぜるまでは手際よくしてください。温かいうちに食べるとおいしいですよ。子供さんのおやつにどうぞ。



小・中学生のための札幌交響楽団のコンサートが、7月14日に札内中学校体育館で開かれました。公開演奏会ということで、中学生や一般の方など1,100人が来場し、ダイナミックな生の演奏にうっとりとして聴きほれていました。

### 札幌の生の演奏にうっとり

本町出身の民謡歌手横川雅美さん(ピクター所屬)のチャリティーショーが、七月二十八日、町民会館で開かれました。このショーは横川さんの実家である横川食堂(旭町)の開店五十周年を記念したもので、社会福祉協議会へ二十万円の寄付をされました。



### 新川の高橋さんが季刊誌を発行



新川に在住している高橋宏さん(六十歳)が単独で企画、取材、編集をして、「とかちの話」という季刊誌を発行しました。内容は十勝の芸術文化や人物の紹介、随筆、連載小説などで、B六版八十四ページものです。「とかちの話」は年四回の発行で、第二号は今年の九月に発行される予定です。

### 自慢ののどで社会福祉に一役

札内若草町公区で歩こう会が行われました。この歩こう会は公区の行事として三年前から実施しているものです。若草近隣センターに集合した140名の参加者は、札内川堤防までの往復4.5キロを歩いたあと、ジンギスカンを囲み、楽しい一日を過ごしました。

### 若草町公区で歩こう会



学校の周囲は緑の林に囲まれ、シマリスが走ったり、木に登ったりするのを見ることができます。また、キツネも時々姿を見せます。そのほかにも、昆虫や草木の種類も多く、理科の勉強に役立っています。先日P

ぼくたちの学校は、市街から南へ十六キロ、幕別町のほぼ中央にあります。昭和五十五年、美川小学校と統合しました。児童数は四十五人です。学級数は昨年、四学級に減り、三・四年、五・六年が複式です。先生の数も八人という小さな学校です。グラウンドは小さな学校のわりにはとても広く、ソフトボールなら四面ぐらいとれそうです。休み時間や体育の時間などは広々と使えます。

### 自然がいつぱいの学校です



ふくしま いたる 君 (6年生)

## 学ぼうの学校 (5)



- ◆ 糠内小学校
- ◆ 三寺恒夫校長
- ◆ 児童数 四十五人

TAのお父さん、お母さん方に、林の中を整備していただき、とてもきれいになりました。将来は「チビッコぼうけんの森」になるといいと思います。毎週水曜日は歌声集会があり、学級発表や全校合唱で元気いっぱい歌っています。土曜集会ではゲームなどがあり楽しみです。七月下旬には三年生以上のキャ



参観日に行われた昔の遊び

ンプがあり、今年はピョウタンの滝(中札内村)に行きました。七月の参観日に、お母さん方に昔の遊びの「竹馬、けんぱ、ゴムとび」などを教えていただきました。楽しい一日でした。



# みんなの声



救急訓練をする隊員



## どんなときに救急車を…

◆◆◆ (投書)

町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。

投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときは、匿名希望とお書き添えいただければそのようにしますし、秘密は守ります。

■あて先……本町130番地 総務部企画財政課広報広聴係

私は、病気がちの両親と暮らしています。何かあるととても心配です。救急車は、どういったときや利用する

■お答えします

## いざ人命に危険が!

### 幕別消防署が救急活動を始めたのは四十七年からです。十三年た

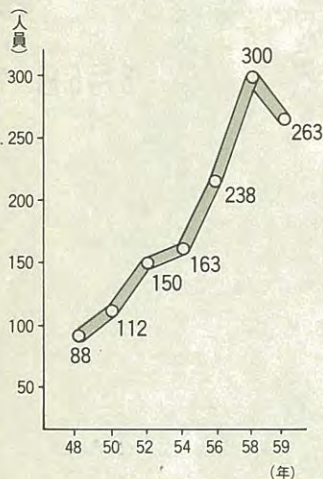
る場合の仕方、昨

ちますが、残念ながらタクシーがわりに一一九番、なにがなんでも一一九番、というのが相当数あります。

幕別消防署が救急活動を始めたのは四十七年からです。十三年た

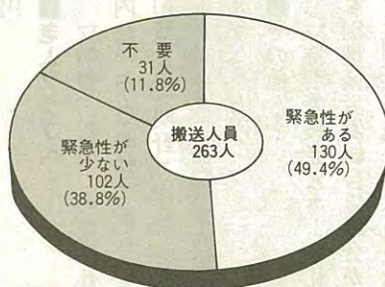
さて、昨年一年間に救急車の出動要請があつたのは、二百八十件と前年より十七件減少しました。グラフ①から分かるように近年、救急搬送人員は増加の一途をたどっていました。中には出動したけ

①救急搬送人員の推移



では、どういったときに救急車を依頼できるかといえば、①生命に危険を及ぼす傷病②ただちに適切な処置をしなければ重大な結果を招く場合③ほかに有効な搬送手段のない場合、このほかにも考えられますが、以上が主となっています。

救急車を呼ぶ場合は、「どこが」「どうなって」「どういう状態か」と、この三点について要領よく伝えてください。ほかに、事故の場所、住所、氏名、年齢、性別、既往症などを知らせてください。例えば、「腹が」「痛くて」「とても苦しんでいる」「既往症として「胆石で通院していた」と、な



②救急車の必要性(医師の判断から)

れど救急車まではと、疑問に思われるものも多く含まれています。グラフ②では、病院へ搬送した患者の病気、けがの程度からみて、救急車を必要としたかどうかを医師に判断していただいたものです。その結果、緊急性があり救急車を必要とした人は百二十人(四九・四%)であり、緊急性が少ないが救急車を必要とした人は百一人(三八・八%)です。これに対して、問題は医師が「救急車を必要としない」と判定した三十一人。医師から「このような軽い患者を救急車で、しかも夜中に連れてこなければいけないのか」と救急隊員がしかられることも再三あり、隊員は大変苦勞をしています。

このことを十分に考慮され、一台しかない貴重な救急車を、皆さんが有効に活用していただくことをお願いします。救急車の出動要請は☎一一一九です。

(幕別消防署)

## 新町民登場



さかい 酒井 たかし 隆さん(51歳) 札内あかしや町47

## 気候と生活環境が

いいですね

今年の四月に職場(太平洋建設工業)の異動で、標津町から来ました。生まれは帯広市ですが、すぐに釧路へ移りましたので、帯広の記憶は全くありません。ふるさととは聞かれると、やはり釧路と答えています。

標津町には一年いましたが、海の幸が豊富なことと、晴れた日には国後(クナシリ)島がはっきりと見えたことが印象に残っています。

幕別町に来てから三カ月たちましたが、非常に住みやすいところですね。気候がいいですし、住宅の周りの環境も道路や公園が整備されていて満足しています。近くに温泉(幕別温泉)があるのもいいですね。週に二〜三回入浴しに行っています。浴室がきれいなので楽しみにしています。

# あなたも町づくりに参加を

## 私の声を町長に送る旬間

8月5日～14日

あなたも「広聴ハガキ」で町政に参加してみませんか。

昨年に続き今回も「私の声を町長に送る旬間」(八月五日から十四日まで)を設け、よりたくさんの方の声を聴き、町づくりに反映させます。

広報紙に折り込んであるハガキに、日ごろあなたが考えているこ

と、町政へのアイデア、将来の希望、意見などをお気軽に書いてポストへお入れください。

■住所、氏名はハッキリと書いてください。

■ハガキは八月十四日までにお願いします。

寄せられたハガキは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して

回答書を作り、町長の意見を加えて本人へ直接回答します。無記名



昨年寄せられた広聴ハガキ

のものは、回答できませんのでご了承ください。  
なお、昨年は百四通・百五十八件の貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。

### 「寄付ありがとうございます」

町へ……

▽船戸喜左衛門さん(札内豊町) から札内福祉センター前庭植栽用としてオンコー一本  
▽佐柄源三郎さん(札内泉町) からキャンペーンテント一式  
▽福島次郎さん(寿町) から老人福祉センター環境整備用として庭石五個

### 社会福祉協議会へ……

▽岡坂正美さん(軍岡) から一万円  
▽幕別ライオンズクラブから三万円  
▽札内鳥せいきん(札内中央町) から二万六千五百円  
▽高橋恭子さん(明野) から十万円  
▽松山友春さん(錦町) から五万円  
▽佐々木房男さん(札内共栄町) から敷布団三枚、掛布団一枚  
▽竹林ヒナさん(札内新北町) から五万円

### 老人クラブへ……

▽明野、新川、大豊長寿会へ竹内数一さん(明野) から二万円、植田豊さん(明野) から二万円  
▽岡坂正美さん(軍岡) から軍岡老人クラブへ三万円

### その他……

▽特別養護老人ホーム札内寮へ幕別地区労働組合協議会から二万円  
▽小野寺キクエさん(帯広市)

から五十万円  
▽岡坂正美さん(軍岡) から身体障害者福祉協会幕別分会へ一万円  
(六月十二日～七月十五日分)

## 勝山海治さんから町へ絵画の寄贈



勝山繁さん(右)から林町長へ手渡された絵画

画家の勝山海治さん(神奈川県在住)から、十勝で個展を開いた記念にと、町へ絵画の寄贈がありました。勝山海治さんは、本町の勝山繁さん(本町・勝山医院院長)の義弟で、寄贈には勝山繁さんが代理で立ち会いました。

# ひと

⑤

## 農家に信頼される普及所に

所主任の普及改良農業  
所長の松井茂晴さん  
(札内新北町197・48歳)

農業技術指導の「かなめ」として、中部地区農業改良普及所幕別町駐在所主任に、今年四月着任したのが松井茂晴さんです。

「普及員になって二十八年になります、あこがれの十勝に来て大変喜んでます。」

幕別町の農業は、優れた農家が多く、青少年グループの育成も熱心ですし、各関係機関・団体の強力な指導体制が図られており、駐在所の責任の重さを痛感しています。

足腰の強い農業を確立するためには、今の農業情勢下では農家の努力も限界にきていると思います。やはり、行政機関などの援助が必要です。

「普及所も、農家の皆さんがより良い生活ができる農業であるように、科学的資料に裏付けされた、もうける営農技術指導に努めたいと考えています。」

幕別町駐在所には、六人の普及員がいます。誠実と熱意をもって、農家の皆さんに信頼される普及所として頑張ります。

昭和十二年一月に羽幌町で生まれる。前任地は、東紋東部地区上湧別町駐在所。

シートベルト着用推進運動

